| 科目名称 | リハビリテーション医学 | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
|------|-------------|----------------|--------|---------|
| | | 第2学年 前期 | 1 | 30 |
| 担当教員 | 中田 亮輔 | 授業に関わる 実務経験 | ■ 有 (理 | 世学療法士) |

【1】授業概要

健康障害を抱えながら生活する人が増加する現代社会。それらの人々の生活の質を高めるため、リハビリテーションの流れを理解する。また、対象の障害に応じたリハビリテーション看護を実践するために、疾患別のリハビリテーションを理解する。

【2】 学習目標

- 1. 運動器の障害とリハビリテーションを理解する。
- 2. 呼吸器・循環器系の障害とリハビリテーションを理解する。
- 3. 感覚器系の障害とリハビリテーションを理解する。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- □ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- □ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|----|-----------------------|--------|
| 1 | 運動器のリハビリテーション | 講義 |
| 2 | 運動器の評価 | 講義•演習 |
| 3 | 動作指導 上肢疾患に対する三角巾 | 講義 |
| 4 | 動作評価·介助法 | 講義 |
| 5 | 呼吸リハの基礎知識 | 講義 |
| 6 | 呼吸リハの実際 | 講義 |
| 7 | 心臓リハビリテーション① | 講義 |
| 8 | 心臓リハビリテーション② | 講義•演習 |
| 9 | 中枢疾患のリハビリテーション | 講義 |
| 10 | 中枢疾患の理学療法 | 講義•演習 |
| 11 | 運動器・中枢疾患の作業療法 | 講義 |
| 12 | 高次脳機能障害とリハビリテーション | 講義 |
| 13 | コミュニケーション障害とリハビリテーション | 講義 |
| 14 | 摂食嚥下障害とリハビリテーション | 講義 |
| 15 | 試験・まとめ | |

【5】評価方法

1. 筆記試験、授業への取り組み(学内実習)を含めた総合評価を行う。

【6】 教科書

武田宣子:系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護(第7版) 医学書院 2023 (電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。

リハビリテーションと一言で言っても、疾患や症状によって様々な方法があります。また、リハビリテーションの効果を高められるか否かは、知識と技術によります。さあ、正しい知識・技術を一緒に学びましょう。